

富岡ひばり第二保育園



子どもたちをやさしく照らす太陽の軌跡を表した屋根



保育室③④⑤

間仕切を外せば、広々としたホール



廊下

外が見渡せる明るい廊下



鳥瞰パース

周辺になじむ素材感と記憶に残る形



園庭からの眺め



屋外テラスからの眺め

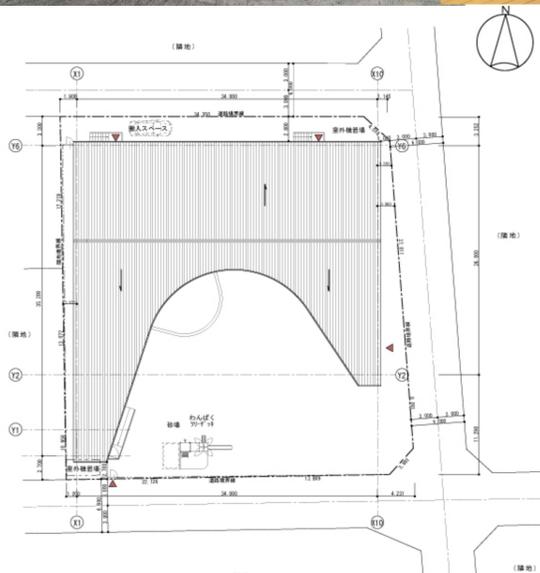


出入口

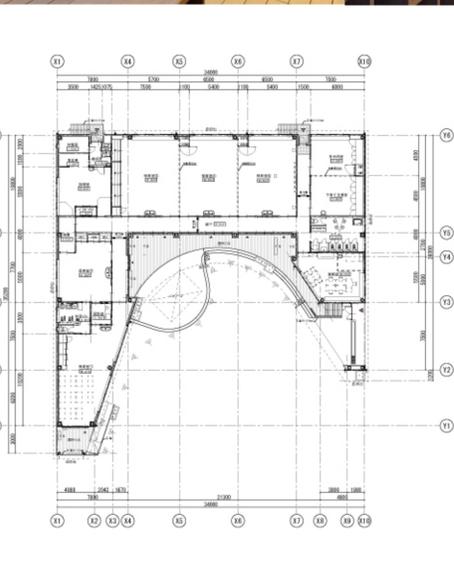


トイレ

楽しくなるような色使い



配置図 S=1/300



平面図 S=1/300

概要

この建物を形態的に特徴づけているのは屋根です。屋根の形状は基本的には単純な切妻ですが、その南側の面を放物線状にくり抜き園庭を作っています。建物のFLは埋蔵文化財保護のため道路面から1m以上浮いており、園児たちは園児室からテラスを通過して階段とスロープで緩やかにすり鉢状の園庭に降りていくような構成となっています。道路面から見た建物は周辺の住宅の中に溶け込むようなスケールと素材感に配慮していますが、一方園庭の囲われた空間や南側の駅のホームなど少し高いところから見た建物は、周辺の建物の中であって特別な形をした屋根の形状によって、子どもたちや見る人の記憶に残るような建物になってほしいと考えました。